

令和 7年度予算見積調書

課室名：薬務課

担当名：薬物対策・献血担当

内線：3633

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S217	薬剤確保費			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	薬剤確保費	
事業期間	昭和36年度～	根拠法令	なし				針路分野施策	03 介護・医療体制の充実 0305 医薬品などの適正使用の推進	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-8
1 事業概要 まむし抗毒素等の血清類を所要量確保し、緊急時に備える。 また、季節性インフルエンザワクチン等の安定供給を図るため連絡調整などを行う。 (1) 県有抗毒素の保管管理及び供給委託 6,487千円 (2) 季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議の開催 52千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 県有抗毒素の保管管理及び供給委託 6,487千円 ・医療機関からの緊急需要に備えて必要な県有抗毒素の確保 ・県内医薬品卸売業者と県有抗毒素の保管管理及び供給委託契約の締結 イ 季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議の開催 52千円 在庫等の調査(年2回)、安定供給対策会議の開催(年1回分) (2) 事業計画 ア 県有抗毒素の保管管理及び供給委託 「乾燥まむしウマ抗毒素」を県内医薬品卸売業者9店舗及び医薬品製造販売業者 1 事業所に保管管理及び供給を委託 イ 季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議の開催 (3) 事業効果 ア 県有抗毒素の保管管理及び供給委託 緊急時の対応により、現在まで死亡例なし イ 季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議の開催 過去3年間大幅なワクチン不足はなし 【活動指標（アウトプット）】 県有抗毒素の保管管理及び供給委託契約の締結 季節性インフルエンザワクチンの安定供給を図るための連絡調整 【成果指標（アウトカム）】 緊急用血清類が必要となる疾病等による死亡例がない 季節性インフルエンザワクチンの大幅な不足がない (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 県内の医薬品卸売業者等と県有抗毒素の保管管理及び供給委託 イ 季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議の開催 医薬品製造事業者等委員を委嘱、医薬品卸売業者に調査の協力を依頼 (5) その他（変更点） 国有ワクチンの供給は国と県の売払い契約に基づくものであるため、事業終期は設定できない ワクチン類の薬価改定に伴い、供給費用（歳入・歳出）を見直し					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円									

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
		財産収入						
決定額	6,539	6,181					358	1,745
前年額	4,794	4,451					343	

事業内訳書

事業名	薬剤確保費		
単位事業名	県有抗毒素の保管管理及び供給委託	予算額	6,487千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	6,181	1,730	防疫用薬剤等売払収入
一般財源	306	0	
合計	6,487	1,730	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	6,182	1,730	各種抗毒素及びワクチンの購入
委託料	305	0	保管及び供給委託料
合計	6,487	1,730	

単位事業名	季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議の開催	予算額	52千円
-------	---------------------------	-----	------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	52	15	
合計	52	15	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	25	0	季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議委員謝金 5人
役務費	10	2	インフルエンザワクチン在庫等調査による送料
使用料及び賃借料	17	13	季節性インフルエンザワクチン安定供給対策会議会場費 1回
合計	52	15	